

ポスト・インターネット空間論

第五回

NEEN

NEENは、2000年にアーティストの
ミルトス・マネタスによって提唱された芸術運動。
NYのガゴシアンギャラリーで発表

<http://manetas.com/timeline/2000.html>

2009～2010年くらいまで続いたよう。

未だに謎？が多い。つかみどころがない

NEENのマニフェストの2つのバージョンの
日本語訳は以下から読むことができる
NEEN を実践するアーティスト = NEENSTAR

http://overkast.jp/2011/09/neen_manifesto/

neen立ち上げ後、「ElectronicOrphanage」
電子的孤児院

という名前のコレクションのプロジェクトもあった

<http://electronicorphanage.com/>

<http://timeline.manetas.com/collection/>

2002年、ホイットニービエンナーレのネットアート作品のセレクションについて不満を持っていたミルトス・マネタスは、ホイットニービエンナーレを混乱させるような計画を考えた。

<http://rhizome.org/editorial/2015/aug/14/flash-artists-cybersquatted-whitney-biennial/>

23台のレンタルトラック (U-Haul) を用意。
トラックの荷台にPCとプロジェクターを置き、
開口部にスクリーンを設けて、そこに作品を投影しながら
ホイットニービエンナーレのオープニング会場周辺を
運転するということ、

<http://whitneybiennial.com/>

というドメインを取得し、そこに
NEENのアーティストの作品を展示する計画。

23台のレンタルトラックのプランは
実行されなかつたが、サイトの方は実現し、
今でも閲覧することができる。

<http://rhizome.org/editorial/2015/aug/14/flash-artists-cybersquatted-whitney-biennial/>

<http://www.nytimes.com/2002/03/04/arts/arts-online-if-you-can-t-join-em-you-can-always-tweak-em.html?pagewanted=1>

「NEEN」と「TELIC」

レキシコン社というブランディングを行う
会社に名前を提案してもらう。
そこで出てきた2つの言葉。

<https://anthology.rhizome.org/neen>

「TELIC」

方向性のあるものやゴールに向かっているもの
意味を通したがるもの

「NEEN」

まさに今

NEEN は、気のくるった TELIC

NEEN とは、いろいろなOSをムダに使うことなのです。

NEEN はとてもセンチメンタル

ばかばかしい奇跡は NEEN

NEENとして制作・発表された作品の多くは
flashで制作された

NEENで数多くの作品を制作・発表していた
アーティスト

Rafaël Rozendaal

<http://www.newrafael.com/websites>

ひたすら見していく

<http://www.newrafael.com/websites>

1つのドメインに1つの作品
NEEN的なスタイル

AFTERNEEN SHOW

2002年

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NEEN-AFTERNEEN-SHOW>

NEEN TODAY SHOW

2004年

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NEEN-TODAY-SHOW>

NEEN DAY

2005年

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NeenDay-Movie>

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NEEN-NEEN-DAY>

SUPERNEEN SHOW

2006年

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NEEN-SUPERNEEN-SHOW>

NEENの提唱者である
ミルトス・マネタスの、NEEN以外の作品を見てみる

ペインティング

<http://cargocollective.com/manetas/OIL-ON-CANVAS-PAINTINGS>

ビデオゲームを使った映像作品 (MACHINIMA)

<http://cargocollective.com/manetas/AFTER-VIDEOGAMES>

BlackBerry Paintings

<http://cargocollective.com/manetas/BLACKBERRY-PAINTINGS>

NEENの作品は以下から見ることができる
時間がゆるすかぎりひたすら見ていく

<http://cargocollective.com/manetas/NEEN-1/NEEN-all-works>

NEENに参加していた日本人のひとり
萩原 俊矢

<http://shunyahagiwara.com>

社会的、政治的な文脈の強かったnet.artから、
現代美術的、ファインアート的になっていく
ネットアートの流れを牽引したムーブメントとして
NEENがあったと言えるかもしれない。